

内科（～平成27年3月）

呼吸器内科

5名

→ 平成27年4月から 7名
（内 後期専攻医1名）

消化器内科

9名（内 後期専攻医4名）

→ 平成27年4月から 8名
（内 後期専攻医2名）

糖尿病・内分泌内科

3名（内 後期専攻医2名）

→ 変更なし

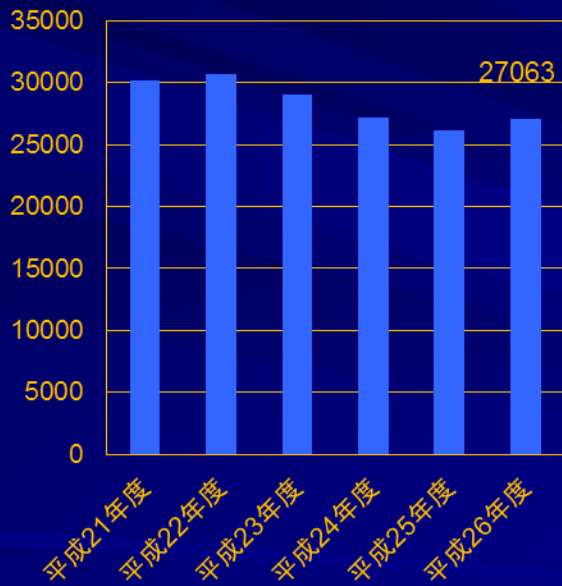
循環器内科

3名

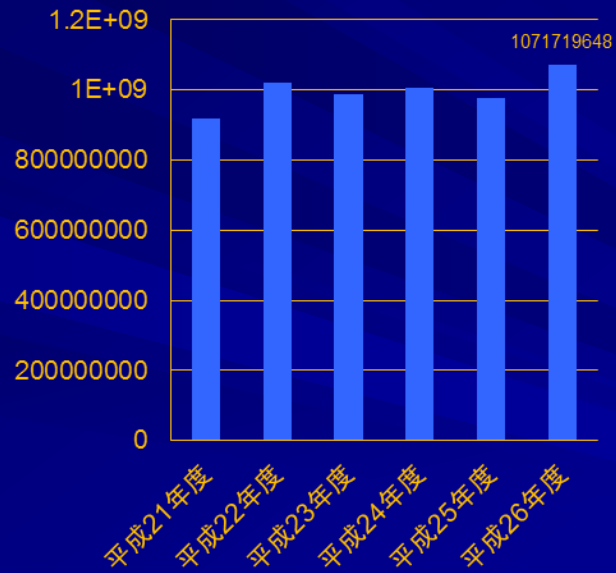
→ 平成27年6月から 4名

内科入院実績

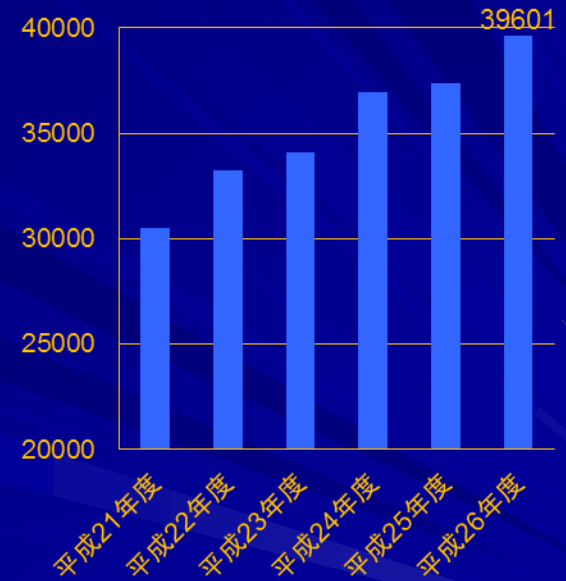
入院延べ患者数



入院収益

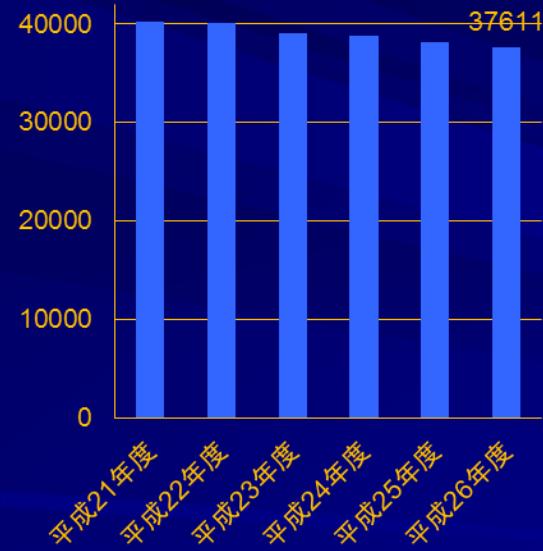


入院単価

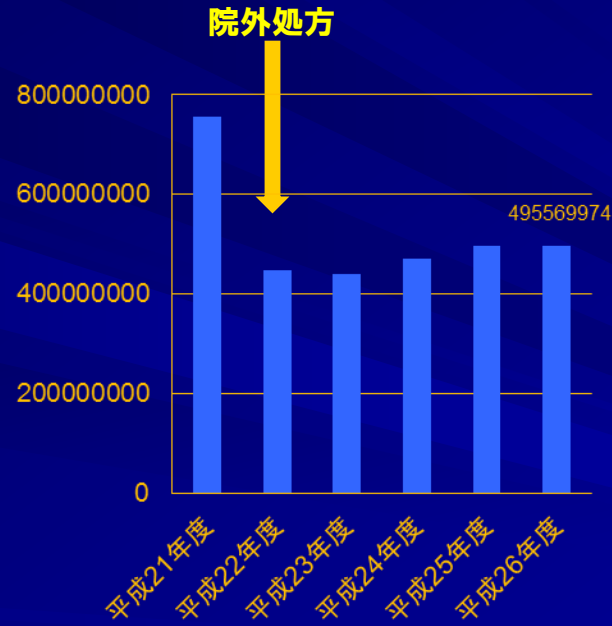


内科外来実績

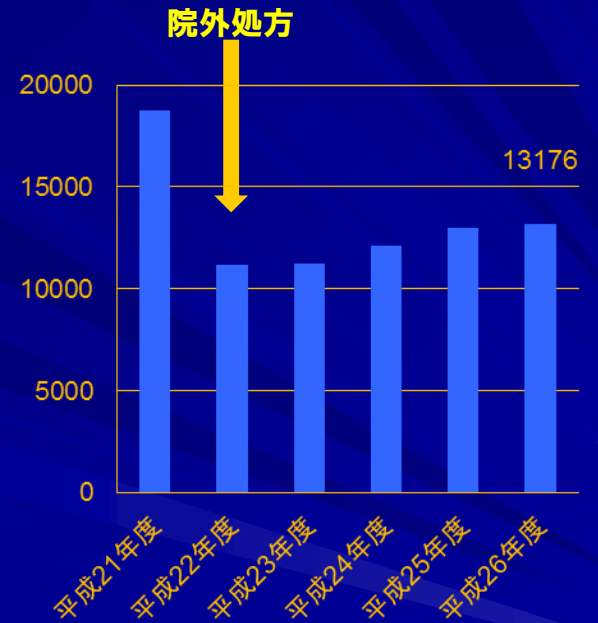
外来延べ患者数



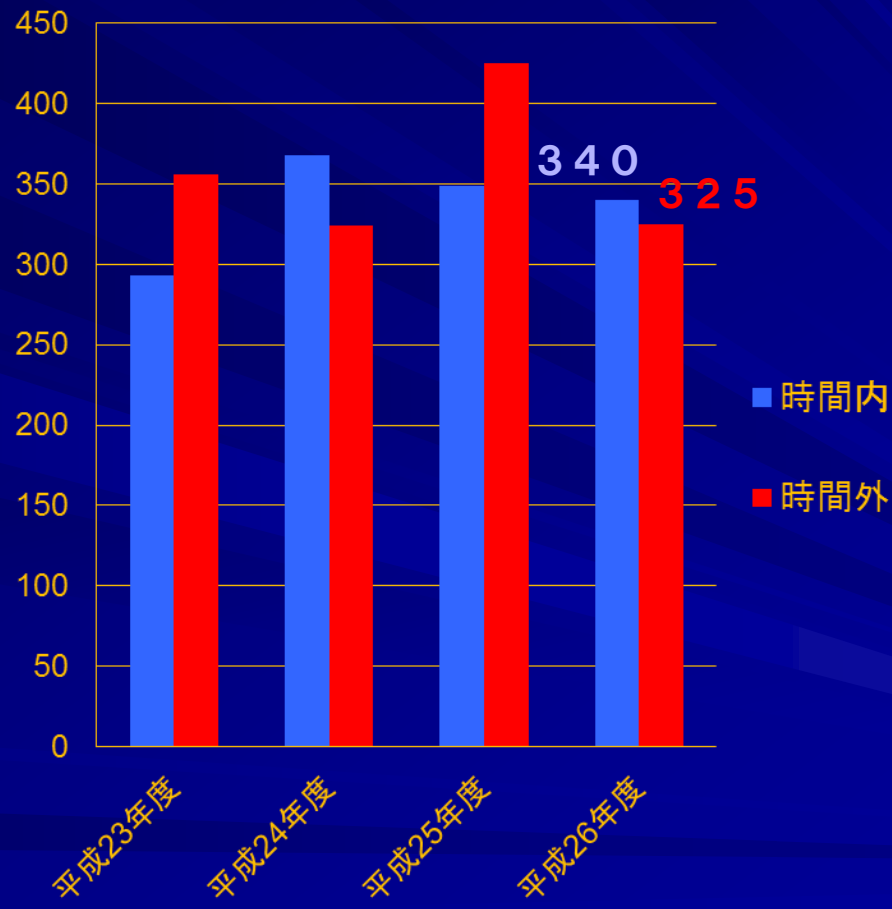
外来収益



外来単価



内科救急車搬送患者数



循環器科業績

2015. 1.1～2015. 6.30 上半期

2014.9.2に当院1例目の血管カテーテル検査

2015年から毎週**火曜日**午後と**木曜日**午前
心血管カテーテル検査日と設置

心血管カテーテル総検査数：**66症例**（6ヶ月間）

冠動脈治療（PCI）件数：20症例

末梢動脈治療（EVT）件数：11症例

2015年3月から**水曜日**に**冠動脈CT**検査開始

内視鏡センター

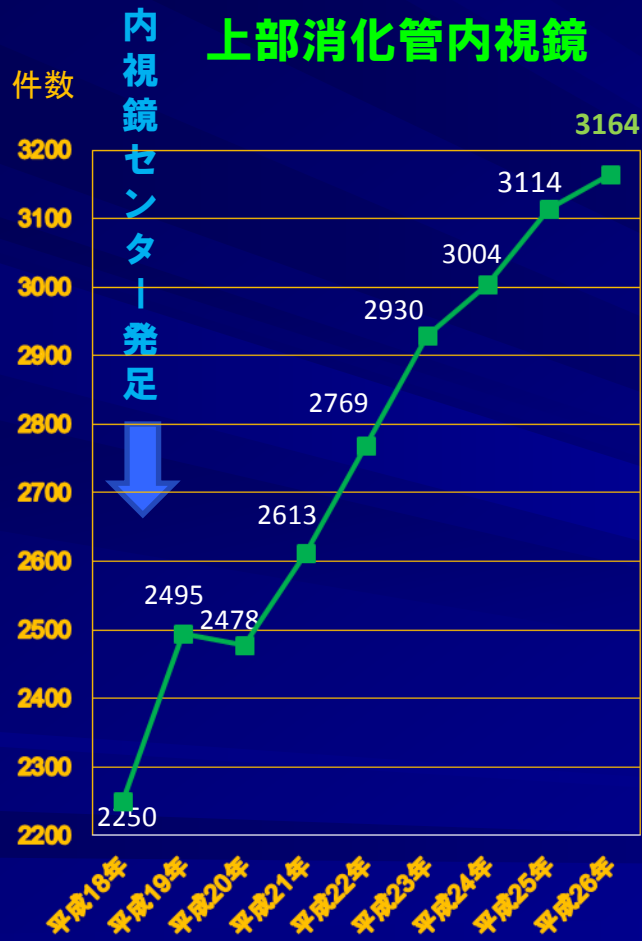
診療方針

1. 急性期病院・地域支援型病院として、より質の高い医療を提供する。
2. 地域診療所（開業されている先生方）に開かれたセンターとする。
3. 診断、治療の成績を明らかにし、努力目標をたて成長するセンターにする。

業務内容：上部/下部消化管内視鏡診断と治療

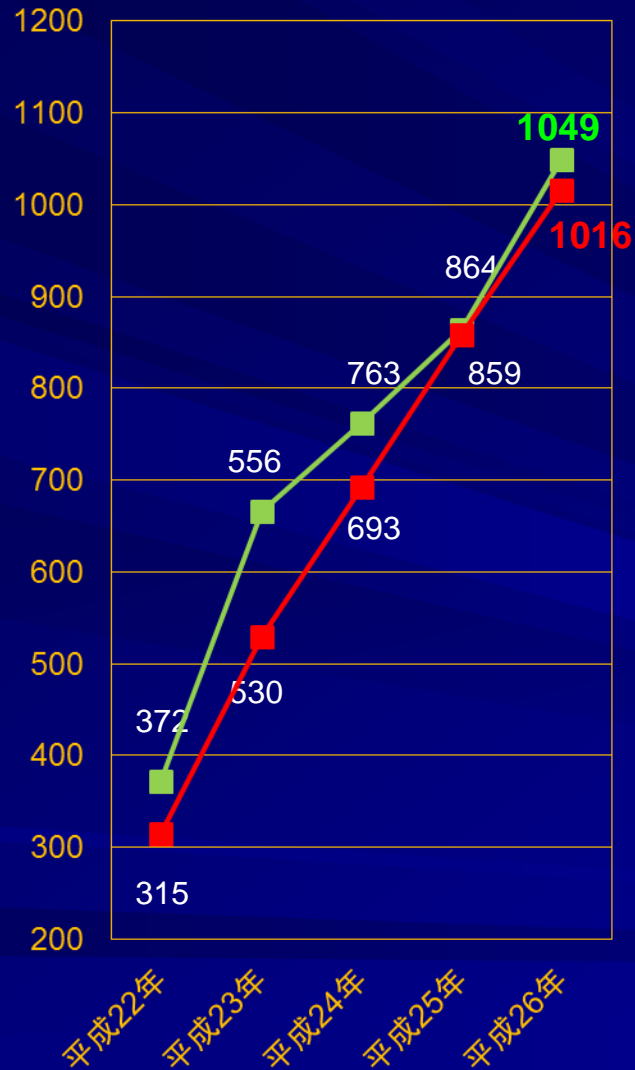
- <上部消化管>** 経口内視鏡、経鼻内視鏡検査、拡大内視鏡、NBIなど
疾患診断、スクリーニング
早期胃癌・食道癌の粘膜切除術、粘膜下層剥離術
内視鏡的静脈瘤結紮術・硬化術
内視鏡的止血術
内視鏡的狭窄拡張術、ステント留置術
ERCP、内視鏡的胆道ドレナージ、総胆管結石破碎術
内視鏡的胃瘻造設術
超音波内視鏡（診断、治療）
- <下部消化管>** 大腸内視鏡、拡大内視鏡、NBIなど
疾患診断、スクリーニング
大腸ポリープ・癌の粘膜切除術、粘膜下層剥離術
内視鏡的止血術
内視鏡的狭窄拡張術、ステント留置術
超音波内視鏡（診断、治療）
- 小腸ダブルバルーン内視鏡、カプセル内視鏡
疾患診断
内視鏡的止血術

内視鏡総件数



各年集計は1月から12月まで

鎮静下内視鏡件数



平成26年度

上部 3164例中1049例 (33.2%)

下部 1396例中1016例 (72.8%)



上部内視鏡 平成25年度と、平成26年度との比較

	総数	経鼻 内視鏡	拡大 内視鏡	生検	ESD	PEG 造設 ボタン交換	止血処置	ERCP EST ERBD	鎮静	緊急
平成25年	3114	629	58	674	25	48	39	79	864	119
平成26年	3164	571	48	725	32	23	34	106	1049	112
合計	+50	-58	-10	+51	+7	-25	-5	+27	+185	-7

下部内視鏡 平成25年度と、平成26年度との比較

	総数	SF	CF	生検	ポリペク EMR	ESD	小腸 ダブルバ ルーン	カプセル 内視鏡	鎮静	緊急
平成25年	1270	67	1203	284	331	15	12	9	859	18
平成26年	1396	64	1332	290	330	13	26	8	1016	32
合計	+126	-3	+129	+6	-1	-2	+14	-1	+157	+14

内視鏡センターの取り組みと目標

1. 患者/紹介医のさらなるニーズに答える

- ・ 内視鏡枠の増加（平成27年5月から3列に拡大）
- ・ 鎮静下内視鏡体制の充実
- ・ 緊急内視鏡体制の充実

2. モチベーションとプロ意識の向上

- ・ 医師の専門医資格、学会発表、論文作成
- ・ コメディカルの消化器内視鏡技師資格、学会参加、発表

3. 小腸カプセル内視鏡、小腸ダブルバルーン内視鏡、 超音波内視鏡の活用